

1 「若い世代が家族を増やしたくなる」まちづくりについて

(1) 男女の出会いの機会の創出に関する取り組みについて

婚活に対する行政としての取り組みと考え方について伺います。

出会いの創出について、今後どのような支援策を検討されているか伺います。

(2) 平成25年度から実施されている磐田市公営婚活の実態調査・分析をどのようにしているのか、また活用方法を伺います。

(3) 磐田市と社会福祉協議会の連携について

磐田めぐりあい事業と磐田市結婚相談所の役割・現状について、あわせて今後の方針を伺います。

社会福祉協議会では、4市1町における結婚相談所の連携が図られています。市の婚活事業も他の市町と連携を取って首都圏の独身男女を対象に出会いの場を提供する事業を検討できないか伺います。

(4) 民間主催の婚活事業への取り組みについて

婚活支援事業費補助事業に期待するところを伺います。

今後の補助事業方針を伺います。

(5) コミュニケーション力を高める参加型の婚活について

市の事業や民間事業を活用し、参加型の男女交流ができる機能が重要だと思いますが、市の現状と認識を伺います。

市の事業に未婚の男女を実行委員として受け入れ、まちづくりに参加しながら交流する機会を増やす仕組みは有効だと考えます。支援策の検討はどうか伺います。

## 2 子どもたちが健やかに成長するまちづくりについて

- (1) 妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援について基本的な考え方、取り組み状況及び成果を伺います。

- (2) 妊娠・出産・子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強化について  
ネウボラ事業をモデルとした妊娠・出産・子育て包括支援づくりの検討が必要と考えますが認識を伺います。

子育て支援センターを活用した「マイ支援センター登録」の取り組みを実施していく考えを伺います。

産婦人科、小児科、子育て支援センター、交流センターの連携が重要と考えますが認識を伺います。

相談員の確保、育成が重要だと思えます。認識を伺います。

- (3) 「妊娠」から「子育て」までを支援するシニア世代の協力について  
経験豊かなシニア世代の方に「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」講座を受講していただき、「世話焼き名人」として認定し地域で活躍していただくのはいかがと思えますが考えを伺います。

- (4) 「子育てなら磐田」を市民全体で支える方向性を示すために「(仮称)いわた子育て応援都市宣言」制定について考えを伺います。

- (5) 経済的支援について

2016年春から駿東地区の6市町が連携して、子どもが3人以上いる世帯の保育園や幼稚園の保育料について、第3子以降を無料に、第2子を半額とする方針を固めたという報道を見ました。本市においても近隣市町と連携して第3子保育料無料など、子育て支援の入口としての経済的支援の検討が必要と考えますが認識と課題を伺います。

多子世帯に対し公共施設の利用料無料や公共交通、日用品などの割引支援策等の考えを伺います。

充実のためには財源も必要になります。ふるさと納税の「未来を担う子どもたちへの支援」の寄付を活用し、磐田市らしさが詰まった大胆な施策が必要と考えますが認識と今後の方向性を伺います。